

平成26年9月5日

豊田市議会議長 都 築 繁 雄 様

産業建設委員会

委員長 神谷 和利



### 委員派遣実施報告書

本委員会は、次のとおり委員派遣を実施しましたので、委員会条例第37条第1項の規定により提出します。

#### 記

- 1 日 程 平成26年7月29日(火)～31日(木)
- 2 派遣先 29日(火)・・・広島県尾道市／  
及び内容 「サイクリングロード(レンタサイクル)整備事業」  
30日(水)・・・兵庫県神戸市／  
「産業医療都市の取組」  
31日(木)・・・大阪府大阪市／  
「都市再生整備計画「うめきた先行開発地区」」
- 3 派遣委員 委員長 神谷 和利  
副委員長 小島 政直  
委 員 河合 芳弘 杉浦 弘高 三江 弘海  
山野辺秋夫 伊井 房夫 板垣 清志  
青山さとし
- 4 報 告 書 視察報告書のとおり
- 5 そ の 他 随 行 / 川北 尚志、近藤 乃介

# 行政視察報告書

【視察日】平成26年7月29日（火）～7月31日（木）

産業建設委員会

委員名 神谷和利

平成26年度「産業建設委員会」は下記の行程で行政視察を実施した。

| 行程  | 視察先    | 調査項目                         |
|-----|--------|------------------------------|
| 1日目 | 広島県尾道市 | 「サイクリングロード（レンタサイクル）整備事業」について |
| 2日目 | 兵庫県神戸市 | 「産業医療都市」について                 |
| 3日目 | 大阪府大阪市 | 「都市再生整備計画（うめきた選考開発地区）」について   |

## 【参加者】

委員長 神谷和利 副委員長 小島政直

委員 河合芳弘、杉浦弘高、三江弘海、山野辺秋夫、伊井房夫、板垣清志、青山 聡

以上9名

## 広島県尾道市

尾道市（おのみちし）は、広島県の南東部、山陽地方のほぼ中南部に位置する市



面積 284.85km<sup>2</sup>

人口 139,420人

### 【概要】

岡山市と広島市のほぼ中間に位置しており、この付近は両地域の「緩衝地帯」となっている。瀬戸内海（対岸の向島との間はその狭さから尾道水道と呼ばれる）に面し、古くから海運による物流の集散地として繁栄していた。明治時代には山陽鉄道が開通し鉄道と海運の接点ともなり、広島県東部（備後地方）で最大の都市となるが、昭和40年代初頭には福山市（工業都市化で急速に発展し旧城下町で平地に恵まれた）に中心地の座を明け渡した。ただし、現在も備後都市圏の有力都市のひとつとなっている。1999年5月のしまなみ海道開通によって四国の今治市と陸路で結ばれ、物流面での利便性が高まり、建設中の高速道路中国横断自動車道（尾道松江線）が開通すると「瀬戸内の十字路」として更なる利便性の向上が見込まれている。

「坂の街」「文学の街」「映画の街」として全国的に有名である。文学では林芙美子、志賀直哉などが居を構え、尾道を舞台とした作品を発表した。映画では小津安二郎監督の「東京物語」が尾道で撮影され、大林宣彦監督の「転校生」「時をかける少女」「さびしんぼう」は『尾道三部作』として、若い世代にこの町を有名に

した。

2000年代以降にはアニメの舞台にもよく使われ、アニメファンから、鷲宮神社、木崎湖、豊郷小学校旧校舎、城端と共に“五大聖地”と呼ばれるようになった。

山間地域から沿岸地域、多くの島により、地域性豊かな農産物が多く栽培されている。わけぎ、いちじく、レモン、ネーブルオレンジは全国一の生産量を誇り、もも、ぶどう（デラウェア）、八朔、デコポン、みかん、串柿、すいか、葉たばこ、きぬさやえんどうなどの生産は県内1位である。



## サイクリングロード（レンタサイクル）整備事業

～自転車道や休憩所を整備し自転車を活用したまちづくり～

### 【選定理由】

近年、幅広い世代から健康を意識したレジャーとして人気上昇しているサイクリングを活用し、瀬戸内の大自然の魅力をPRする取組を実施している。従来は、都市部の歩行者と自転車を分離する意味合いでの自転車道整備は多く見られたが観光面を踏まえての自転車道整備は先進的な取組で、山間部の自然を多く有する豊田市においても今後、中山間地の観光のPRの手法として参考になると考えるため。

### 【豊田市の現状と課題】

豊田市においては中心市街地に近い豊田スタジアム周辺を中心に歩行者と自転車を分離する歩道整備を愛知県警察とともに実施してきた経緯がある。しかし、近年、健康意識の向上も相まって、山間部の特にダム周辺を中心としたエリアでサイクリングを楽しむ人が増加しており、今後、豊田市の有する大自然、観光を有効的にPRしていくことが求められる。

### 【視察概要】

■日本一のサイクリング道 「しまなみ海道」  
80キロ

美しい海や島を眺めながら空を飛ぶように自転車を走らせた。こんなサイクリストの夢をかなえるのが、本州と四国をつなぐしまなみ海道だ。広島県尾道市と愛媛県今治市との間を6本の橋で結ぶ、全長70キロの瀬戸内海横断自転車道。「おすすめのサイクリングコース」で1位（日経プラスワン・何でもランキング、2010年8月）となった名コース。

専門家おすすめのランキングで、メイプル耶馬サイクリングロード（大分）などを抑えて最高評価を得たしまなみ海道のサイクリングコース。上級者なら4時間程度で走破できるが、景観をめでたり、ご当地グルメに舌鼓をうちながら寄り道したりして走るポタリング（自転車散歩）を楽しむ人も多い。新たな施設も相次ぎ設けられ、初級者でも気軽に海上サイクリングに挑戦できる。

■サイクリングターミナルで手軽にレンタル

出発点は、本州側はJR山陽本線尾道駅、四国側はJR予讃線今治駅のそれぞれ駅前。いずれにも自転車レンタルやルートマップの入手ができる市営のサイクリングターミナルがある。

手軽にレンタルしたければ、市営の施設がおすす。駅前でも借りられるが、来島海峡大橋の近くにある今治市営「サンライズ糸山」は400台を保有する。

ロードバイクからママチャリまで1日大人500円、小学生以下300円で借りられ、尾道まで計12カ所あるサイクリングターミナルで乗り捨ても可能だ。ここにも電動アシスト（4時間800円、乗り捨て不可）がある。

しまなみ海道といっても、自転車で高速道路（西瀬戸自動車道）の脇を走るのは、橋上の10キロ足らずで、それ以外は大島、因島などの主に県道を走行する。

専用自転車道ではないので、以前は途中でルート間違えたサイクリストから不満が出ていたが、今春までに尾道市と今治市がメインルート沿いに青い線を引き、最終地点までの距離も表示した。このブルーラインをたどれば、最短距離で楽に瀬戸内海を渡ることができる。

### 【所感】

スポーツサイクルを楽しむ人は、平坦なコースよりアップダウンのあるコースを好むとのこと。中山間地でも大いに期待が持てる。

行政として特別な整備をしているわけではない。路肩に、サイクリング道を示すブルーラインとコース案内のサインを設置したのみである。多額の整備費を必要としない。

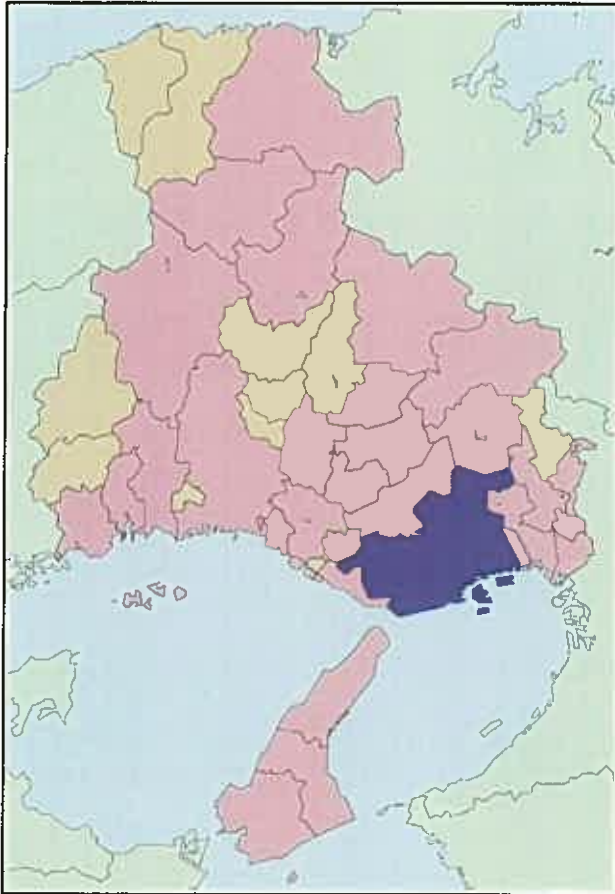
しまなみ海道では、拠点から拠点の一方通行コース、レンタサイクルの乗り捨て返却が可能であるが、豊田市では車で拠点まで来るユーザーが多いと思われるので、拠点に帰ってくる周回コースが適している。

きっかけとして、全国レベルや国際レベルの大会を企画することも効果があると思われる。



## 兵庫県神戸市

神戸市（こうべし）は、兵庫県南部に位置する兵庫県の県庁所在地である。垂水区・須磨区・長田区・兵庫区・中央区・灘区・東灘区・北区・西区から構成される政令指定都市である。



面積 552.26km<sup>2</sup>  
人口 1,538,281人

### 【概要】

海と山の迫る東西に細長い市街地を持ち、十分な水深の有る扇状の入り江部に発展した理想的な港湾・神戸港を有する日本を代表する港町である。

市域中央に横たわる六甲山地の山上の高原一帯は日本における別荘・リゾート等の発祥地として有名であり、六甲北麓の有馬温泉は日本三古湯の一つとして古来より名高い。

「神戸」という地名は、現在の三宮・元町周辺が古くから生田神社の神封戸の集落（神戸「かんべ」）であったことに由来する。西国街道の宿場町であり北前船の出発地の一つでもあった

兵庫津（ひょうごのつ）に近く、廻船問屋が軒を並べていた神戸村を指していた。神戸三社（神戸三大神社）をはじめとする市内・国内にある神社の神事に使うお神酒の生産にも係わり、前述の有馬温泉や神封戸の形成も市名の由来に関係している。

海運においても古くから盛んで、近代には世界の市場にその名を知られるほどに隆盛していった。以降も貿易・鉄鋼・造船・機械・製造・ゴム・真珠加工・観光等の産業を中心に発展、ファッション・医療・食料品などの産業も近年は盛んである。

1995年1月17日に発生した兵庫県南部地震による阪神・淡路大震災では市内のほぼ全域で震度7を観測。市街地と港、道路、インフラは甚大な被害を受けたが急速に復興を遂げ、2005年には国内3番目の市営空港として神戸空港が開港した。

2007年、フォーブスの「世界でもっとも綺麗な都市トップ25」で25位に選ばれた。ちなみに1位はカルガリーで、アジアでは神戸を含む日本の3都市（勝山9位、大牟田25位）が選ばれている。2008年、アジアの都市で初めて「デザイン都市」としてユネスコに認定された。2012年には、スイスのECAインターナショナルが世界400余りの都市の、気候、医療サービス、インフラ、安全性、大気品質などの生活水準を調査し発表した「世界で最も住みやすい都市」で、日本の都市で唯一トップ10に入り、世界全体で5位、アジア内ではシンガポールに次ぐ2位に選ばれている。



## 産業医療都市

～神戸ポートアイランドによる大規模企業誘致について～

### 【選定理由】

産学官連携により、21世紀の成長産業でもある医療関連産業の集積を図る「神戸医療産業都市」を推進。1998年10月にプロジェクトの検討を始めてから15年が経過し、現在、ポートライナー「医療センター」駅周辺に14の中核施設をはじめ、270以上の医療関連企業が進出している。

この取組は自動車産業を中心としたものづくり産業都市である本市にとって、今後の企業誘致政策の参考になると考えたため。

### 【豊田市の現状と課題】

西広瀬工業団地などを中心としたものづくり産業の企業誘致を促進しており、今後、第2東名高速道路の開通等により交通の利便性はさらに向上することが想定される。さらなる本市の発展のため、長期にわたり企業誘致を実施している先進的自治体の取組を調査、研究し、今後の方針の礎にする必要がある。

### 【視察概要】

神戸医療産業都市構想とは、神戸市が主体となりポートアイランド2期地区を中心に医療産業や医療関係の学術機関を集積させ、産学連携による高度医療技術の国際的な研究開発拠点の整備に向けた都市開発構想である。

1998年から構想をスタートさせ、2001年には国から都市再生プロジェクトに、2002年には知的クラスター創成事業に選定、2003年には構造改革特別区域である先端医療産業特区に認定されている。

構想の中心であるポートアイランドには、2002年の理化学研究所発生・再生科学総合研究センターのオープンを皮切りに、先端医療センター、神戸臨床研究情報センター、神戸バイオテクノロジー研究・人材育成センター、神戸大学インキュベーションセンターなどの公的機関が次々開設された。また2007年には神戸学院大学、兵庫医療大学といった医薬系学部を持つ大学が開設された。民間企業の集積も進み、国内・海外を含め、2011年6月現在で14の研究関連施設と200以上の医療関連企業が進

出しており、今後もさらに増加する見込みである。

このポートアイランドでは、再生医療、細胞培養、バイオメディカル、トランスレーショナルリサーチ、医薬品の開発及び臨床研究、医療・健康機器開発、医療ファンドによる企業化研究、医療関連の人材育成、生命倫理の研究など、先端医療に関して様々な研究や取り組みが行われている。また、理化学研究所が主体となり国家プロジェクトとして文部科学省が推進する世界最速の次世代スーパーコンピュータの建設地に決定し、2012年にスーパーコンピュータ「京」が完成、供用を開始した。

### ■主な施設

#### ●リサーチゾーン・研究開発ゾーン

理化学研究所 計算科学研究機構  
ポートライナーの医療センター駅、京コンピュータ前駅周辺のエリアで、構想の中核施設やベンチャー企業育成施設が集積している。

- ・神戸医療機器開発センター (MEDDEC)
- ・神戸インキュベーションオフィス (KIO)
- ・神戸MI R&Dセンター
- ・理化学研究所 分子イメージング科学総合センター (CMIS)
- ・神戸健康産業開発センター (HI-DEC)
- ・神戸国際ビジネスセンター (KIBC)
- ・神戸バイオテクノロジー研究・人材育成センター (BTセンター)
- ・神戸バイオメディカル創造センター (BMA)
- ・神戸大学インキュベーションセンター
- ・日本麻酔科学会本部
- ・理化学研究所 計算科学研究機構 (AICS)
- ・スーパーコンピュータ「京」

#### ●メディカルゾーン

医療センター駅付近の中央市民病院周辺のエリア。

- ・神戸市立医療センター中央市民病院
- ・財団法人先端医療振興財団
- ・先端医療センター病院
- ・臨床研究情報センター (TRI)
- ・理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター (CDB)

#### ●アカデミックゾーン

ポートアイランド西岸には学術機関として大学が集積している。

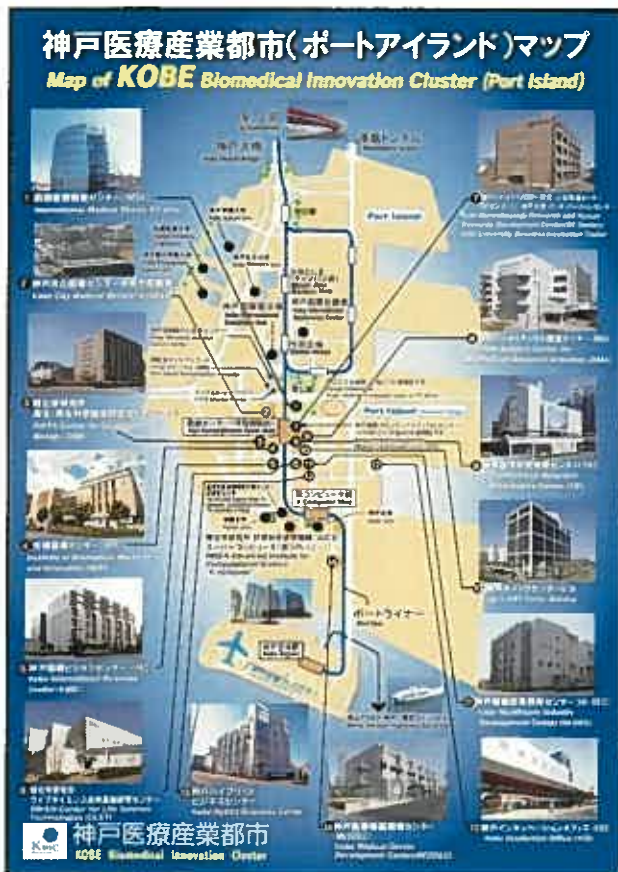
- 神戸学院大学
- 神戸女子大学・神戸女子短期大学
- 神戸夙川学院大学
- 兵庫医療大学

【所感】

規模の大きさには驚嘆する。

豊田市でもものづくりの集積とか、先端産業とか企業誘致をしているが、ある程度テーマを絞り、特化した方が進出企業同士でメリットがあるのではないか。

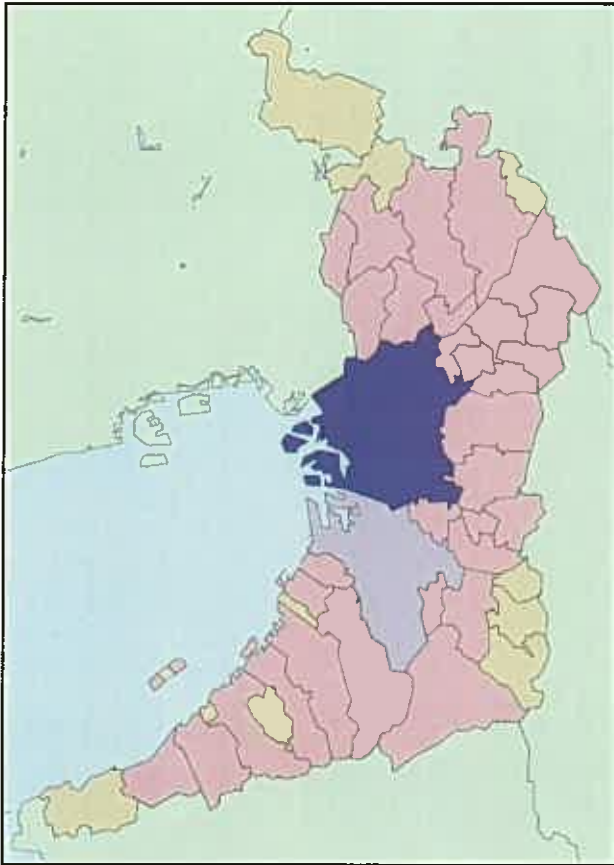
産学官連携の見本である。豊田市において、企業誘致の観点では「学」が抜けている。「学」が連携するためには、それなりの立地やしきみづくりが必要であろう。





## 大阪府大阪市

大阪市（おおさかし）は、日本の近畿地方（関西地方）、大阪府のほぼ中央に位置する市で、同府の府庁所在地である。政令指定都市に指定されている。



面積 223.00km<sup>2</sup>  
総人口 2,685,218人

### 【概要】

大阪市は、近畿地方および西日本の行政・経済・文化・交通の中心都市であり、市域を中心として、大阪都市圏および京阪神大都市圏が形成されている。大阪市の2009年度の市内総生産は約19兆円で、政令指定都市中最大であり2倍から3倍の人口を擁する北海道や千葉県、兵庫県など1つの道府県の県内総生産を上回る[2]。京阪神大都市圏の圏内総生産は、国内では首都圏に次ぎ、世界的にも上位にある[3]。また市内の従業者数、事業所数、上場企業本社は共に東京23区に次いで国内2位である。夜間人口は横浜市に次いで全国2位の約267万人、人口密度は全国の市で5位（政令指定都市中で1位）、昼間人口は市外から多くの通勤通

学者が流入するため東京23区に次ぐ約369万人となる。近年では都心回帰が顕著で、中心部三区を中心に増加傾向にある。

古代から瀬戸内海・大阪湾に面した当時の国際的な港である住吉津や難波津などのある外交に関連した港湾都市として栄え、古代の首都としての難波宮、難波京などの都城も造営された。中世には、浄土真宗の本山であった石山本願寺が置かれ、寺内町として発展した。近世初期には豊臣秀吉が大坂城を築城し、城下町が整備された。江戸時代には天領となり、江戸をしのぐ経済・交通・金融・商業の中心地として発展。天下の台所と称され、豊かな町人文化を育んだ。明治時代に入ると、繊維工業（船場の繊維街なども有名）を中心とした工業都市となり、「東洋のマンチェスター」、「煙の都」と称された。戦後も長らく経済に関しては東京をリードする立場が続き、特に1990年代まで9大総合商社のうち6社が大坂本社といった構図がこれを象徴していたが、これも相次ぐ再編や東京移転で過去のものとなった。

第二次世界大戦後には、重化学工業の比重が高まり、今日も阪神工業地帯の中核を担う。他方で、卸売業を中心に商業活動も活発で、道修町（薬種）、松屋町（玩具）、本町（繊維）など市内各所に問屋街が発達している。また中之島や北浜界限には、金融街が形成されている。市役所の所在する中之島から大坂城にかけての地域には、官公庁や公的機関が数多く立地している。

2014年、アメリカのシンクタンクが公表したビジネス・人材・文化・政治などを対象とした総合的な世界都市ランキングにおいて、世界第55位の都市と評価されており[4]、日本では東京に次いで第2位である。また、アメリカのダウ・ジョーンズらの2013年の調査によると、世界33位の金融センターと評価されている

## 都市再生整備計画「うめきた先行開発地区」

～開発整備計画及び規制緩和による商業への取組について～

### 【選定理由】

平成16年7月に策定した「大阪駅北地区まちづくり基本計画」に基づき、大阪駅周辺先行開発地区が平成25年春に完成した。都市再生特別措置法の一部改正に伴う特例により、公道上にオープンカフェを設置する等、中心市街地を活性化するしくみは、豊田市駅の駅前再開発を推進する本市にとって今後の取組の参考になると考えたため。

### 【豊田市の現状と課題】

豊田市駅前通り北地区市街地再開発準備組合が設立され、平成29年度のオープンを目指し、駅前開発が進行している最中である。活気、賑わいのある空間の創出について、市民、事業者との共働、官民連携による都心づくりをめざしている。

### 【視察概要】

## 成長戦略拠点特区の『大阪駅周辺地区：うめきた（大阪駅北地区）プロジェクト』

『知の集積』～日本経済を牽引する成長戦略拠点特区構想の中核プロジェクト～

世界有数の大都市圏を形成する関西の中心『大阪駅周辺地区』で、アジアの新産業創出拠点を形成するプロジェクト

当プロジェクトでは、西日本最大のターミナル立地を活かし、国内外の知的人材の交流拠点を形成するため、知的創造拠点『ナレッジ・キャピタル』の構築により次世代成長産業の集積や新産業の創出を促進し、日本発の知的創造を実現する『都市型イノベーション』に取り組む。

さらなるインフラ機能の拡充を図るため、JR東海道線支線の地下化・新駅設置などに取り組むとともに、新たな公民連携モデル「新しい公共」による先進的な都市環境整備・エリアマネジメントを実施し、周辺地区への展開をめざす。

### ■うめきた（大阪駅北地区）の概要

・平成16年7月に「大阪駅北地区まちづくり基本計画」を策定

・先行開発区域

都市再生機構が土地区画整理事業を実施（平成17年度～平成24年度）

平成18年5・11月に開発事業者決定

平成22年3月着工

平成25年4月まちびらき

・2期開発区域

平成21年7月に「大阪駅北地区2期開発ビジョン」を策定

平成23年4月に都市基盤（土地区画整理事業、道路、都市高速鉄道、

交通広場）の都市計画決定

### ■まちづくりの5つの柱

#### 1. 世界に誇るゲートウェイづくり

アジア・世界へのゲートウェイを目指した国際的拠点としての機能強化と空間形成を図る。

・JR東海道線支線地下化・新駅設置による関西国際空港とのアクセス利便性の向上など、広域交通ターミナル機能の充実

・関西・大阪圏の玄関口として象徴的で風格のある駅前空間の創出

・国際的なビジネス拠点の形成 など

#### 2. 賑わいとふれあいのまちづくり

人々がまちに集い、賑わい、ふれあい、まちでの活動を楽しむことができるまちづくり、歩行者主体の空間形成を図る。

・賑わい軸における華やかで賑わいある空間の創出

・賑わいネットワークなどによる回遊性の高い歩行者動線ネットワークの形成

・人々の交流と賑わいの場を提供する都市機能の集積 など

#### 3. 知的創造活動の拠点（ナレッジ・キャピタル）づくり

新しい産業・技術、文化・価値を生み出し、関西から世界へ発信する知的創造拠点（ナレッジ・キャピタル）の形成を図る。

・関西のシーズと世界の人材・知識の交流の場

・人の交流による新技術・産業・価値の創出の場

・市場ニーズの把握と開発・商品化のための交流・展示拠点 など

#### 4. 公民連携のまちづくり

まちの魅力の向上、効率的な運営管理を目指した公民連携による一体的なまちづくりを図る。

- ・公民協働による水・緑の景の創出や広場の空間形成
- ・公民連携によるエリアマネジメント組織 など

#### 5. 水と緑あふれる環境づくり

まちで活動する人々にやすらぎとゆとりを与える水と緑豊かな都市環境の創出を図る。

- ・シンボル軸における立体的な緑の空間と水のネットワークの主軸の形成
- ・ストーリー性のある水環境の創出
- ・多様な緑のネットワークに包まれたまちづくり
- ・賑わい軸における商業施設と一体となった木漏れ日のある緑の空間の創出 など

#### うめきた先行開発地区

- 道路管理者大阪市
- 所在地大阪駅北1号線、2号線（大阪市大阪駅北地区）
- 開始年度平成25年度
- 占用主体一般社団法人グランフロント大阪TMO（開発事業者が設立）
- 実施事業オープンカフェ（食事施設）の設置による賑わい創出
- 広告板・パナー広告の設置による良好な景観の創出
- 自動車案内誘導サインの設置、防犯カメラの設置、屋外ベンチの設置等

#### ■経緯

- ・平成16年7月にまちづくり基本計画を策定し、歩道上へのオープンカフェを位置づけ、民間主体でカフェ等を設置することを計画
- ・事業者募集コンペに応募した開発事業者が、基本計画に則り、歩道上へのオープンカフェ設置を提案
- ・当初は、道路管理者や交通管理者との協議において、民間主体のオープンカフェでは「無余地性の基準」を緩和できないとの見解
- ・本制度の創設により、「無余地性の基準」緩和が可能となったことを受け、制度の適用を検討

#### ■区域設定

- ・占用物件ごとではなく、エリア一帯の歩道を面として指定

- ・道路管理者と交通管理者の事前協議、及び都市再生整備計画案の策定は、大阪市のまちづくり部署が担当し、グランフロント大阪TMOと協働して進めた

#### ■占用主体の選定

- ・上位計画に基づいて開発事業者を公募し、事業者提案に沿ってオープンカフェ等を検討

#### ■合意形成

- ・道路管理者と交通管理者の事前協議、および都市再生整備計画案の策定は、大阪市のまちづくり部署が担当
- ・都市再生整備計画にかかる公安委員会の同意については、府警本部が公安委員会や所轄署との調整役を担当
- ・関係機関と時間を掛けて議論しながら、計画調整を行ってきており、法改正後の調整の円滑化に寄与

#### ■期間

- ・通年で許可を検討

#### ■効果と課題

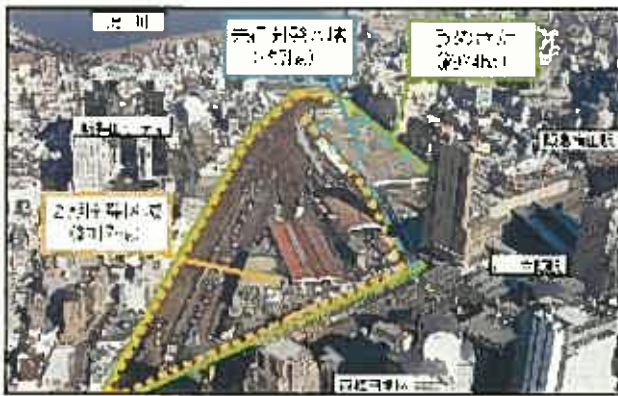
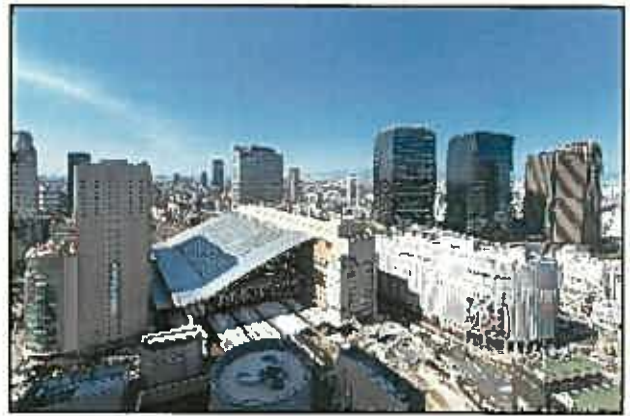
- ・占用許可のプロセスが明確化されており、多様な主体によるチェック機能も一定見込まれ、運用上のリスクは低い
- ・占用主体の顔が見えており、適切な維持管理の担保
- ・本制度の適用においては、市のまちづくり部署が各管理者に対して他地区との違いを明確に説明し、必要性を理解してもらうことが重要

#### 【所感】

日本最後の一等地の開発として梅田駅の改修と一体的な開発がされている。

オープンカフェ・広告事業は豊田市駅前通りでも採用の可能性を検討すべき

豊田市では、オープンカフェを設置する場合、街路樹が少ないため、どのように緑陰を作るかが課題となる。



|  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>INTERCONTINENTAL</b><br/>HOTELS</p> <p>インテリコンチネンタルホテルが提供する価値<br/>1700ホテルを世界60か国以上に展開しているインターコンチネンタルホテルグループが、インターコンチネンタルホテルをコアに、ホテル272の運営、6つのレストランをバー、宴会場、プールなど充実した施設を備え、人気があつてのかけがえのない体験を提供し、新しいスタイルのクラウンプラザホテルが誕生します。</p> | <p><b>KNOWLEDGE CAPITAL</b></p> <p>多岐にわたる事業<br/>建築の請負、クリエイターとして、中継ユーザと対峙し、人々、それぞれが持つ「感性」と「情報」を融合させ、「新しい感性をもみ出し、ナレッジを共有する」ための仕組み「職位」を提供し、新たな価値を生み出しています。</p>                                    |  <p>グローバルなインフラ<br/>国内外の都市、異なる文化圏、22の国と地域、60の水質のグレートバリアー、20のクラブ、20のオフィス、カンファレンスルームやコワーキングスペース等のワークスペースを、人や知識が集まり、交流する場として、内外のコミュニケーションを促進し、新たなビジネスを創出しています。</p> |
|   |  |   |
|  <p>世界中の一流ホテルチェーンである「The Hotel」をコアに、日本の高級ホテルをコアとした地上40階層の分譲ビル、海外著名の「フレッド・トーマス」ホテルのノウハウを継承したホテルのサービス「ザ・リビッド」がコンセプトからつくるアップグレードを提案しています。</p>    | <p><b>More than just SHOPS &amp; RESTAURANTS</b></p> <p>世界中の一流ホテルチェーンである「The Hotel」をコアに、日本の高級ホテルをコアとした地上40階層の分譲ビル、海外著名の「フレッド・トーマス」ホテルのノウハウを継承したホテルのサービス「ザ・リビッド」がコンセプトからつくるアップグレードを提案しています。</p> |  <p>約10,000の強、年間100万人の集客、公共利用市民の観光事業121ヶ所、整備、運営も「新しい公共」のモデルケースとして、周辺、人々の集まり、交流の場、新しいインフラを築き、市民から市民まで幅広い層が、活動ともに大衆の場となる。日常、新しい価値を生み出しています。</p>                  |